

たかさご新聞

高砂同窓会の思いを珠洲市へ
能登半島復興支援ツアー・研修レポート

【復興支援ツアー（珠洲方面）行程表】
金沢⇒見附島（軍艦島）【義援金贈呈と見附島の工場見学】
⇒道の駅すずなり（能登福祉会を聴講）
⇒正院公民館（避難所生活等を学ぶ）⇒須須神社参拝（宝物等を見学）⇒金沢

7月4日（金）、参加者83名はバス2台で、珠洲市へと向かいまし

バスが金沢を出発すると、車内でマイクでトークが始まり、「大津波警報で高台へ逃げようとしたが、道は車で大渋滞。家族と歩いて中学校へ避難した」。参加者の一人が話した体験談に、誰もが1月1日の記憶を呼び起こされました。

地震の予知は不可能

【珠洲市の能登半島地震（1月1日）の被害状況】
1)マグニチュード7.6の地震で、震度6強の揺れと4.7mの津波が沿岸部を襲いました。
2)市内建物の約90%で被害発生。市内6,000棟のうち1,600棟が全壊で、3,800棟で一部損壊の被害発生。
3)人口13,000人のうち、断水や停電等でピーク時には約5,000人が避難所暮らし。
4)珠洲市への道路網が崩壊し、支援物資等の到着が遅れ、食料不足やトイレ問題等が発生。

たピンポイントでの地震予知は不可能です。

被災地の今を肌で感じる

車窓から見える風景は、地震の爪痕を今なお色濃く

「こんな些細なことでも助けを求めているのは申し訳ない」と感じてしまう被災者の方々が、「ちやべ（おしゃべり）」のついでに気軽に悩みを打ち明けられるようにする、地域に根差した支援の形で

午後には訪れた正院公民館では、館長さんから避難所運営の壮絶な体験談を伺いました。「建物のトイレが使えなくなり、校庭に4つの穴を掘ってトイレを作ったんです」。プライバシーを守るために足場や手すり

「避難所運営とTKB48」
午後には訪れた正院公民館では、館長さんから避難所運営の壮絶な体験談を伺いました。「建物のトイレが使えなくなり、校庭に4つの穴を掘ってトイレを作ったんです」。プライバシーを守るために足場や手すり



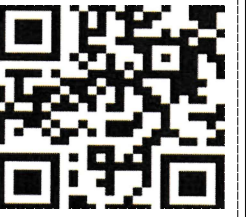
珠洲市の金田副市長（左2人目）へ義援金を直接渡しました

温かい支援の形

『ちやべリスト』

案内役を務めてくださった金田副市長やバスの運転手さんは、自らを「ちやべリスト」と紹介しました。これは能登弁で「おしゃべり好き」を意味する言葉。

発行
高砂大学校同窓会
会長 泉屋和雄
〒920-0901
金沢市彦三町1-15-5
金沢中央公民館2F
TEL (076) 261-8101
FAX (076) 261-8149
(HP) http://www.takasagoob.net



QRコードでホームページ

アンケートに寄せられた声

参加者のアンケートからは、「テレビで見る以上の甚大な被害を目の当たりにし、復興や生活再建への道のりの長さを実感した」との声が多数寄せられました。困難な状況でも前を向いて歩む珠洲の人々の強さや、各地からの支援の温かさ

「買い物で応援した」、「自分のできることを考えたい」等、多くの参加者がそう感じたように、今回の訪問は、私たち一人ひとりが支援への思いを新たにす貴重な機会となりました。

「らくらくピアノクラブ」のピアノ演奏と合唱プログラム一覧
1)弾き語りピアノ演奏 誰でもが耳にしたビートルズの名曲『イエスタディ』
2)ピアノソロ演奏 優しく語りかけるメロディーの『もしもピアノが弾けたなら』
3)キーボードアンサンブル（全員） 指揮者のもと、一人ひとりの音が重なり合い、美しいハーモニーの『思い出のアルバム』
4)ご夫婦によるピアノ連弾 ドラマチックな演奏で映画『ゴッドファーザー』の『愛のテーマ』
5)ユニゾン合唱とピアノ演奏 オイターズ（サークル内男性チーム）によるユニゾン合唱と女性によるピアノ演奏で加山雄三の名曲『旅人よ』
6)ピアノソロ演奏 秋の情景が浮かぶような、しっとりとした音色の『枯葉』
7)ピアノ演奏と観客全員による合唱 季節感にマッチした『たなばたさま』
※アンコールで『思い出のアルバム』を演奏

らくらくピアノクラブが大盛況
大勢の観客が素敵なメロディーにうっとり

7月8日（火）12時半から第10回ランチャタイム・オンステージが彦三館ロビーで開催され、「らくらくピアノクラブ」第2教室18名が出演し、7曲を披露しました。

開演前から会場は、これから始まる電子ピアノ演奏への期待と熱気に満ちあふれていました。

地元新聞2社も取材に駆けつけ、会場は多くの観客（約80人）で満席となり、人気の高いステージとなりました。

クライマックスでは、「旅人よ」のメロディーが流れると、会場の熱気が頂点に達し、ステージと観客が一体となりました。

演芸発表会の華やかステージで
最高のパフォーマンスを楽しみましょう



歌って、踊って、笑顔いっぱいステージを楽しみましょう！
懐かしいメロディー、華やかなダンス、心に響く音色。練習の成果を披露します。
第47回生きがい演芸発表会
【日時】10月17日（金）午前9時30分開場
【場所】金沢市文化ホール
【入場料】【入退場自由】
【お問合せ】中央公民館第三層 高砂大学校同窓会 TEL (261-8101)
ふらっと立ち寄るだけでも大歓迎です！

今年も、高砂大学校同窓会が贈る最高のエンターテインメントショー「演芸発表会」を開催します。

幕が上がれば、そこは音楽と笑顔があふれる夢のステージ。掛け声が飛び交う勇壮な民謡や相撲甚句。思わず一緒に口ずさみたくなる懐かしいの歌謡曲やコーラス。オカリナやハーモニカが奏でる優しいメロディーは、会場を温かい空気で包み込みます。

そして、音楽に合わせて積極的な手拍子や盛大な拍手で盛り上げ、ステージとの一体感からその場にいた人でないと味わえないリアルな感動が得られ、さらにテンションがアップします。多くのみなさんのご来場をお待ちしています。

未来の看護師を、みんな育てよう！
看護学生の臨地実習が始まります

病院での実習とは別に、看護学生たちが、地域で元気に活躍する人生の先輩から「健康で、生きがいのある暮らし」を学ぶために、私たちのサークル活動等に参加し、未来の看護師を目指す若者たちの大切な学びの場となります。

私たちが培ってきた知識や経験を伝えることが、未来の医療を担う看護学生の成長に繋がり、大きな社会貢献となります。

若い学生たちとの触れ合いは、私たちにとても生活の新しい刺激や張り合いになります。

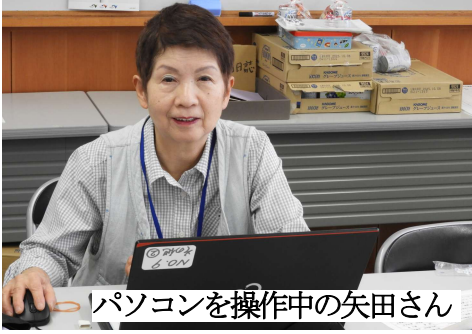
9月4日（木）に、県立総合看護専門学校1年生8名が来館し、下記の4つのサークルが学生たちを温



社交ダンスを練習中の看護学生

- 協力する4サークル
- 1)煎茶翠会
 - 2)端唄会
 - 3)悠々健康クラブ
 - 4)ダンスサークル

【同窓会スタッフの声】
笑顔で語る矢田さんにインタビュー



パソコンを操作中の矢田さん

矢田清美さんは、115期1組から選出され、高砂同窓会で「福祉渉外」を担当し、『同窓会活動一覧（2025年）』にある役割を担っています。

矢田さんは、小さい頃には、才田町の「才田小学校」に通学していたそうで、才田町は金沢市の北東部に位置し、森本川の河口左岸付

近にあります。

才田町は、戦前は、河北郡花園村の一部でしたが、昭和29年の「昭和の大合併」で複数の村が合併して河北郡森本町となり、昭和37年に金沢市に編入され、晴れて金沢市民になりました。

現在に至っています。

古墳時代の『才田御亭山古墳（さだのおちふん）』も鎮座する歴史的価値が高い才田町です。

同窓会活動一覧（2025年）

活動名	実施期間
1)すこやか健康講座の企画・開催	5月～10月
2)看護学生臨地実習受け入れ	9月・10月
3)長寿の祝い開催	9/18(木)
4)赤い羽根共同募金活動	10月初め
5)高砂彦三会の運営	随時
6)協力事業店との契約更新・案内	毎年4～6月

金曜午後、心躍る楽しい時間を
笑顔の花咲くひまわり会で一緒に踊りませんか

高砂ひまわり会 会長
11期2組 碓井 多恵子
「高砂ひまわり会」は、
創部三十年の息の長い民謡
舞踊のクラブです。会員も
多いときは、二十数名在籍
した時期もありましたが、
今は10名です。

今年3月に、体調の変化・
仕事の都合などで、一度に
3名が退会して十二名だっ
た会員が九名になったとき
は、ひまわり会運営を考え
ると「どうしよう」と意気
消沈でした。でも嬉しいこ
とに、その後一人の入会が
決まり、あのしよげた気持
ちは、前向きな気持ちにか
わっていました。それは会
員全員、同じ思いでした。

会員数が少ない分、みん
なの心の距離は近いです。
グループラインでも、連絡
を取り合っています。

ビデオクラブの紹介

高砂ビデオクラブ 会長
108期2組 宮本 房義
一人で操作可能な民生用
のビデオカメラが発売され
てから7年後にビデオクラ
ブが創設されました。

目新しい機種の操作は当
時の気鋭の高齢者には魅力
的な趣味の一つでした。パ
ソコンでアプリ指示通りに
指を運べば初心者でもベテ
ラン同様に編集ができます、
楽器のように素早くとか音
程とか絵画のように筆加減
の必要がありません。

それでいて何よりも完成
したDVDは喜ばれます、
生き甲斐の生まれる趣味で
もあります。仕事一筋で無
趣味のまま定年を迎えられ
た方におすすめしています、

講師の島田先生は、気さ
くでフレンドリー、気兼ね
なくどんなことでも話せま
す。休憩時間のおしゃべり
も、楽しみの時間です。

今年の活動で印象的なの
は、金沢駅もてなし広場
の、高砂一座発表会です。

「よさこい鳴子踊り」と
「花笠音頭」を踊り、お客
様にも一緒に鳴子を鳴らし
てもらい、盛り上がりまし
た。

でも一番は十月の「演芸
発表会」です。今年は富山
の民謡「麦屋節」に挑戦し
ます。紋付袴・白たすき・
菅笠を手に、平家の落人に
思いを馳せて踊ります。皆
さん、見に来てくださいね。
過去に民謡舞踊系クラブ
が2グループ解散して、今
は「ひまわり会」だけになっ
ています。先生にはいつも

俳句・短歌
さんご句会

陳屋の四肢の鋼や残暑なお 八重子
仰向きの蟬の転がる今朝の庭 明子
早朝の心きよらか墓洗う 紀子
秋立つや寝苦しき夜の独り言 紀代
灯消す湯殿に聞きぬ虫の声 ひろみ

石路句会

花卯木燃えて山城甦る 義景
卯の花や唄口遊ぶ裏の路地 吉隆
西日射すデイサービス笑い声 照子
黒瓦西日に映える城下町 眞素美
ビル群は鏡の林大西日 翠風

雪椿句会

久々の法事の膳に鮎の塩 きよみ
白紫陽花白鳥路へとなだれおり 節子
友と会ひ話しの弾む梅雨の街 高三
紫陽花を映しこぼるる涙かな 房義
雨上がり水辺彩る花菖蒲 順治

OB短歌会

穏やかなひととき過す風景に芽吹き優しく樹々の若葉は 洋子
懐かしい言語が聴こえ人混みで観光客につい声かけぬ 照子
ゆつたりと如雨露で撒くのは元気な日百二十四の鉢待つ朝 美代子
太白（たいはく）を教えてくれた友が来る咲いている花の下に逢おうか 宏子
春の日浴び雪吊り解けば待ちわびし木々は弾けて背伸びしている 輝子



ビデオクラブメンバーが全員集合

分史のアルバムを文字と音
楽と声を入れて作りません
か。彦三館2階の編集室へ
「叩けよ、さらば開かれん」
いつでもお越しください。



先生を囲んで笑顔の花咲く会員



お世話になっており、甘え
ることばかりですが、これ
からも会員一同、意見や知
恵を出し合い、前を向いて
会員一同頑張りたいと思っ
ています。

金沢医療センターの
「すこやか健康講座」
が開催されました

胃がんと大腸がん検診
「症状がないうち」がカギ
6月30日（月）、「すこ
やか健康講座」が開催され、
消化器内科の香川先生が登
壇。強調されたのは、「症
状がないうちの早期発見」
の大切さです。検診で見つ
かる早期がんなら5年生存
率は95%以上と非常に高く、
決して怖い病気ではありま
せん。

「自分は大丈夫」と過信
せず、大切な自分の体を守
るため、がん検診の積極的
な受診を勧められました。

7月2日（水）金沢医療
センター院長の阪上先生が
「大災害時の災害関連死を
知り、これを防ぐ」と講
座を行いました。

日頃から災害を「正しく
日頃から災害を「正しく

美濃禪定道・石徹白方面を訪ねて

OB歴史会 学習担当役員
115期1組 西村 和子
6月19日（木）、OB歴
史会の旅行で、白山の山岳
登山道の起点である3カ所
の内の1つ、美濃禪定道
（里宮とを結ぶ道の事）を
訪ねました。

「ひるがの高原SA」を
下り、国道沿いにある長滝
白山神社（長瀧寺）。霊峰
白山を御神体とし、日本各
地の白山神社の1つで美濃
國側の中心的な神社です。



長瀧白山神社の参道口前で

社々石徹白大師堂へと向か
うのですが、その前に昼食
タイム。標高700mに位
置し白く雪を被る別山や白

もしもの時、どうしたい？
「もしバナ」カードゲーム
で考える『人生会議』

7月17日（木）、『人生
会議（ACP）』をテーマ
に開催されました。看護師
の江戸さんらを講師に迎え、
参加者は5グループに分か
れ、カードゲームでグルー
プワークを行いました。

『人生会議（アドバンス・
ケア・プランニング）』と
は、もしもの時に備え、自
身が望む医療やケアについ
て、前もって考え、家族や
医療関係者等と共有する取
組のことです。



ACPのグループワーク前にカードゲームの説明を受ける受講者

令和7年度すこやか健康講座日程一覧			
回数	受講月日	すこやか健康講座名	
第6回	8月6日(水)	お口と全身の深い関係	
第7回	8月29日(金)	関節リウマチについて	
第8回	9月3日(水)	最新の糖尿病治療とは	
第9回	9月11日(木)	すい臓がんを知る	
第10回	10月9日(木)	いままら聞けないNST(自分の足で歩き続けよう！)	

※第6回～8回の受講時間は13:30～14:30、
第9回・10回の受講時間は、14:30～15:30です
募集人員は、1講座50名で、彦三館視聴覚室で受講します。
申込方法は、同窓会事務室内の受付表に記入してください。
定員に達し次第、申込は終了します。

参加者からは、「自分の
考えも整理できた」、「い
ざという時に家族に迷惑を
かけたくないと思っていた」
といった声が聞かれ、貴重
な機会となりました。

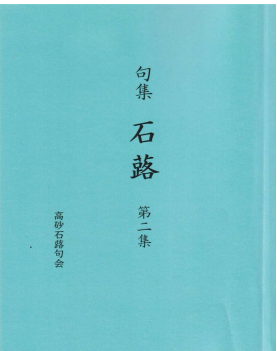
7年間の想いを一冊に
『句集石路第二集』を
高砂石路句会が発刊
7月のある日、高砂石路
句会の松田会長に、令和7
年4月に発刊された『句集
石路第二集』への想いをお
聞きました。

この句集は、7年ぶりと
なる待望の一冊。会員たち
が7年間、こつこつと創作
に励んできた成果が詰まっ
ています。

松田会長は、「毎月の
『たかさご新聞』への掲載
とはまた違い、こうして一
冊にまとまることで、後世
まで残る私たちの財産にな
ります。メンバーにとつて
も大きな励みです」と語り
ました。

完成した30部は、会員の
ほか、他の俳句サークルや
高砂同窓会会長、彦三館館
長にも届けられたとのこと。
彦三館の田鶴館長からは
「皆様の人生そのものと言
えるのでは」と、また同窓
会の泉屋会長からは「日頃
の研鑽の賜物」と、祝辞が
寄せられました。

この句集が、会員それぞ
れのスキルアップの「きつ
かけ」となり、今後の活動
をさらに豊かなものにして
くれることを、強く願って
います。みなさんのご活躍
を期待しています。



句集 石路 第二集